



桜井小学校だより



第8号

令和4年6月22日

文責：校長 成清信彦

ひまわりが大きく咲きました。

なかよし3組の花壇に、なかよし学級の児童が植えたヒマワリがぐんぐんぐんぐん伸びてとうとう2メートル60センチを超えました。茎回りも太く、しっかりしてまるで樹木のようにです。

先日、北区役所の方が取材に来られて、北区のFacebookに登場することでした。ヒマワリは北区の花ということです。お日様に向かってぐんぐん伸びている姿は、子どもたちの元気の象徴です。

265cm



緊急時引き渡し訓練お世話になりました

先日の訓練にご協力いただき、大変ありがとうございました。災害はいつ起こるかわからないものです。子どもさんを学校にお預かりしている時間に何か突発的な事案が発生した場合には、先日のような形でご家庭にお渡しすることになります。子どもたちには何事もなく安心して毎日を過ごしてほしいのですが、いざという時の備えとして実施させていただきました。

私は平成2年に阿蘇地域で豪雨災害が発生したとき、大きな被害を受けた地域の隣の校区にある小学校に勤務していました。様々なうわさが流れる中、教室で子どもたちとお迎えを待っていたことを思い出します。消防団の方が、ゴムボートをもって迎えに来られた町内もありました。一人、また一人と子どもたちが帰っていく中で、なかなかお迎えが来られないお宅の子どもたちと、やや心細くなりながら待っていたことを思い出します。

帰るべきお家が大変なことになっていて、避難所に移動しなければならない子どもさんもいました。

繰り返しになりますが、災害はいつどこで起こるかわかりません。せめて、いざというときの心構えと可能な範囲での備えをしておきたいものです。

「おはようございます」のごあいさつ

「おはようございます」といった朝の挨拶、子どもさん方はできているでしょうか。学校では多くの子どもたちがよく声をかけてくれます。ところが、中には、もごもごと口ごもったり、あいさつの声が出ない子もいます。月例の交通指導の報告を見せていただくと、「あいさつがうまくできません」といった記述も見かけることもあります。

今の家に引っ越してからしばらくしたころのことです。朝から、かわいい犬を連れてお散歩をされるご夫妻がいらっしゃいました。なんとなく顔は合わせるのですが、お互いにジロリと目を見るだけで、しばらくの間は声をかけることもありませんでした。「あの人って何なのだろう」といった変な思いがわくばかりでした。

しかし、ある日ごみ出しをして帰っているときにばったりと向かい合うことができました。思わず「おはようございます」と声をかけました。相手の方も気持ちよく声をかえしてくれました。

それ以来、その犬を連れての方と会うのが楽しみになりました。車の窓越しでもにこっとご挨拶をするようになり、朝のさわやかなひと時となっています。